

DE&Iセミナー ケースで学ぶ障害学生支援の核心 ～『障害の社会モデル』から考える合理的配慮と現場対応～

内容

- ・障害学生支援室（DRC）における実践を踏まえ、障害を個人の機能や能力の問題としてのみ捉えるのではなく、社会の側にある事物、制度、慣行、観念等が障壁となるという「障害の社会モデル」に基づく理解を深める。
 - ・合理的配慮を、単なる特別扱いや便宜供与ではなく、学習機会を保障するための必要かつ合理的な変更・調整として捉える視点を得る。
 - ・学生・生徒の「困り感」に気づき、授業運営、窓口対応、学生支援、附属校現場における初期対応や支援への接続について考える。
 - ・架空事例を用いたケース検討を通じて、慣例や固定観念を問い直し、個別状況に応じた対応や環境調整のあり方について考察する。
- ※講義と個人ワークを組み合わせ実施

講師

岩井 栄一郎 氏

立命館大学 学生オフィスBKC

/障害学生支援室

支援コーディネーター、学校心理士・公認心理

障害学生支援室において、発達障害を含む多様なニーズを持つ学生への支援や合理的配慮の調整、学内連携等に携わっている。



<https://forms.cloud.microsoft/r/zBbWFETAkrr>



このQRコード、
URLより、お申込み
ください。

日時 2026年9月18日（金）

15:00～16:30

場所 立命館大学 大阪いばらきキャンパス

B棟2F B275

申込締切り

9月4日（金）

受講形式 対面およびオンライン（ZOOM）

（オンラインでは日英2言語での文字情報提供を実施します）



※座席位置や会場誘導等の配慮が必要な方は9月4日（金）までに具体的なご希望内容を、以下の「お問い合わせ先」メールアドレスまでご連絡ください。ご要望内容を検討させていただき、できる限りの対応をいたします。

問い合わせ先 diver-i@st.ritsumeai.ac.jp
ダイバーシティ&インクルージョン推進室